

問題発見型／解決型学習(FBL/PBL) テーマ提案 (学生募集内容)

テーマ名称	本棚からコミュニティを作る: 人がつながるファストフードのサービスデザイン
実施責任者	経営管理大学院 講師 山内 裕 デザイン学ユニット [職名] [氏名] 未定
実施協力者	辻邦浩 Kunihiro Tsuji Design 須永剛司 デザイン学ユニット 寺田知太 デザイン学ユニット 水野大二郎 デザイン学ユニット 塩瀬隆之 京都大学総合博物館 平本毅 経営管理大学院 千原一晃 株式会社モスフードサービス
テーマの背景	これまで2回にわたって、株式会社モスフードサービス(モスバーガー)の協力を得て、ファストフードのサービスデザインを実施してきた。今回はそこから生まれてきた新しいサービスのデザインを、実際に現場にトライアルとして展開し、サービスを実装する。具体的には烏丸六角のモスカフェの本棚を利用して、コミュニティの創造につながるサービスデザインを行う。店内でトライアルを展開し、実際の人々の関係性がどう変わるのかを観察し、デザインを改良・付加すると共に、徐々にサービスを仕上げていく。本テーマの目的は、実サービスをデザインするサイクルを学ぶことである。
実習の概要	多くのサービスと同様に、モスカフェでも客と店員が匿名の関係性の中で、画一的なサービスを実践している。客同士が話しをすることはありえないし、客と店員のやりとりも作られた笑顔や親しみやすさで飾られているにすぎない。現在の店に設置されている本棚は飾りとしての意味しかなく、これをデザインの機会として何か人がつながるようなデザインを試みる。例えば、人と人のつながりを構築するために、客が本棚を持ち、自分の本を置き、他の客と本を共有、貸し借りする仕組みを作る。このPBLではアイデアを出すだけではなく、実店舗でのトライアルを通して、サービスを構築していく。例えば、誰が本棚を持てるのかという客を選択する仕組み、客同士が本に書き込みをするための付箋、本の品質を保つための仕組みなどのデザインを詰めていくことができる。
実施計画、実施場所	吉田デジタルファブリケーション拠点 および モスカフェ烏丸六角店。
履修条件	特になし。
募集人数	2名以上、5名以下
募集締切	10月10日(土)
応募資格	特になし。 応募多数の場合には、デザイン学予科生を優先する。
応募方法	以下の項目を記載したメールを送付。fl ㊦ To: yamauchi@gsm.kyoto-u.ac.jp CC: fblpbl-application@design.kyoto-u.ac.jp Subject: [FBL/PBL 参加申込] テーマ名称 本文: 氏名、所属組織、役職・学年、メールアドレス、Web ページ、テーマ名称、背景知識・専門性、応募の動機、その他
履修者の決定	10月17日(金)までにメールで参加の可否を通知。

問題発見や解決に用いるデザイン理論やデザイン手法	エスノグラフィ、プロトタイピング、インクルーシブデザイン
理論や手法の学習方法	サービス科学、エスノメソドロジー、サービスデザイン、組織・コミュニティデザイン
実習の公開方法	報告会だけではなく、ビデオなどの形でウェブ上で公開することを検討する。
成績評価方法	デザインへの参加とデザインされたものを総合的に評価する。
特記事項	• 特になし。

実施計画

コマ	日程	場所	実施内容
1-2	10月24日 3-4限	モスカフェ烏丸六角店	現在のデザインのレビューと現場の観察
3-4	11月7日 3-4限	吉田デザインファブリケーション拠点	デザインの改良
5-6	11月14日 3-4限	モスカフェ烏丸六角店	現場での展開と観察
7-8	11月28日 3-4限	吉田デザインファブリケーション拠点	デザインの改良
9-10	12月12日 3-4限	モスカフェ烏丸六角店	現場での展開と観察
11-12	12月19日 3-4限	吉田デザインファブリケーション拠点	デザインの改良
13-14	1月9日 3-4限	モスカフェ烏丸六角店	現場での展開と観察
15	1月23日 3限	吉田デザインファブリケーション拠点	省察